

日弁連貧困問題
全国キャラバン



子どもの貧困

～何が問題か、何をすべきか～

今、日本では7世帯に1世帯の割合で子どもたちが貧困状態にあり、ひとり親世帯に至っては2世帯に1世帯以上の子どもたちが貧困にあえいでいる状況にあります。

しかし、日本では「子どもの貧困」は家庭内の問題として見られ、社会全体で解決すべき問題とは捉えられていません。

そこで、本シンポジウムでは「子どもの貧困」が社会にどのような悪影響をもたらすのか、また、その問題改善のために何ができるのかについて研究者・弁護士・支援者の立場から議論します。

本シンポジウムでは、子育て世帯だけではなく、政策立案者・行政担当者・支援者・法律家の方々に向けても有意義となる情報を発信したいと考えております。皆様ふるってご参加ください。

基調講演

「ひとり親で苦しいのって当たり前ですか？」

日弁連貧困問題対策本部事務局委員
おおぞら法律事務所 弁護士 伊東 達也 氏 (千葉県弁護士会所属)

基調講演

「子どもの貧困と社会保障」

鹿児島大学 法文学部法文学科 教授 伊藤 周平 氏

基調報告

「就職氷河期世代の子育てと連鎖する貧困の見えにくさにまっすぐ向き合って」

鹿児島市議会議員 野口 英一郎 氏

ミニパネル ディスカッション

「子どもの貧困」問題改善への展望

コーディネーター：国分単人法律事務所 弁護士 溝延 祐樹 氏 (鹿児島県弁護士会所属)
パネリスト：おおぞら法律事務所 弁護士 伊東 達也 氏
鹿児島大学 法文学部法文学科 教授 伊藤 周平 氏
鹿児島市議会議員 野口 英一郎 氏



日時：平成30年 **3月3日** 土

時間：午後2時～午後5時

場所：**鹿児島県
弁護士会 3階**

〒892-0815 鹿児島県鹿児島市易居町2-3
TEL: 099-226-3765



主催 鹿児島県弁護士会 共催 日本弁護士連合会・九州弁護士会連合会